



# 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)  
電話 (鉄電) 千葉2935・2939番  
(公) 043(222)7207番  
FAX 043(224)7197番  
2000.10.3 No. 5203.

三里塚闘争は日本の現状を変える原動力!

# 10・8三里塚現地闘争に立とう

**団結を固め、新ガイドライン  
戦争発動体制を突き崩そう!**

日本は昨年のガイドライン関連法の成立をもって「戦争のできる国」へと舵を切った。そして今、ついに憲法改悪にまで手をかけてきている。重大な決意をこめてこの攻撃を直視し、その阻止のために力の限り踏張ることが求められている。

一方、日本経済は、危機を何一つ解決できず万策尽きた状態でありこれらの危機を大リストラー首切り権利破壊等々全て労働者に押しつけてきている。労働者は闘わなければ生きていけない。団結して闘わなければ何一つ解決しない時代の到来である。

こうした中で怒りの声は、国鉄闘争を先頭に労働者総体に広がり、現状の変革を求める声も満ちている。それは沖縄、三里塚、全国の反戦、反基地闘争においても二〇〇〇年の攻防をやりぬく中で新たな生命を吹き込んできた。この間の闘いは、厳しい情勢の中でも、労働者の団結した力と闘う人々の連帯が堅持されれば必ず情勢を変えることが出来ることを立証しているのである。

国鉄闘争を軸に日本労働運動を変えよう。三里塚、沖縄、全国の闘う人々が力を合わせ戦争への道を断ち切ろう。

一〇・八三里塚から反撃に立ちあがろう!

**郡司とめさんの闘魂を  
ひきつぎたたかおう**

反対同盟婦人行動隊の郡司とめさんが八月九日逝去された。郡司さんは一貫として反戦を訴え、反対闘争を貫き、動労千葉をはじめ支援の人々に常に優しく、心底から「元氣」を与えていた。われわれは、あらためて郡司さんの遺志と闘魂を受け継ぎ、労働連帯を強め、三里塚闘争勝利のために闘いぬくことを誓おう。

公団は八月十日と十一日、郡司とめさんの通夜と葬儀の当日に団結街道のつけ替え道路の工事を行なった。団結街道の北方には市東さんの畑と反対同盟の現闘本部があり、その通行は「地役権」として保証されている。こうした工事を民家の軒先で行なう場合は、事前に工事の概要を明らかにする必要があるが公団はこの工事の詳細を公表せずに機動隊を大量に部落の中に常駐させ軒先工事の暴力的圧迫を加えているのだ。

また、暫定滑走路南側六十メートル地点にある東峰神社の立木が暫定滑走路の南側侵入表面を突き破る事実が判明した。公団はこの立木を強制的に伐採する方針を固めている。

運輸省・公団の暫定滑走路「二〇〇二年供用開始」粉砕へ、反対同盟のよびかけに応え一〇・八三里塚現地闘争に総決起しよう。

## 家族会担当者会議を開催

### 全支部で支部家族会結成を!

九月二十一日、DC会館において家族会担当者会議が開催された。第四十三回定期委員会での家族会からの訴えにこたえ本部も家族会担当者執行委員を三名に増強しました。各支部で家族会をつくるために全力で取り組みたいと思います。

会議の冒頭、中野委員長は「労働組合を強化するには、動労千葉の各組織を強化していかなければならない。家族会、青年部、OB会、出向者協議会、それらがちゃんと機能したら動労千葉の強化につながる。家族が理解していなければ労働者は闘えない。国労の清算事業団千四十七名の団結と闘いは、家族会が頑張っているからだ。動労千葉本部家族会は役員会、連続講座を定期的に開催し奮闘している。問題は各支部への連絡体制を含め、親組合がちゃんと援助していないことだ。各支部家族会の主な取り組み

家族会の結成に向けて、できる支部から軽視しないで、うまくできなくとも連絡体制を作るところから始めよう。来年の家族会総会は二ヶタ強、各支部が参加するようにする」と訴えた。つづいて繁沢副委員長より家族会の現状、これからの闘いについての家族会の役割、支部家族会結成に向けての具体的な取り組みについて提起を受けた。

#### ◎ 連続講座

- ★ とき 十一月二十六日(日) 十三時
- ★ ところ DC会館
- ★ 「教育問題について」

#### ◎ 家族会総会

- ★ とき 二〇〇一年二月一八日(日) 十三時
- ★ ところ DC会館